

国語科

1 国語を学ぶ意義

国語は、母国語である「日本語」を学ぶ教科です。日常において言語は必要不可欠であり、日本語によるコミュニケーションで私たちの生活や人間関係が成り立っています。自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを考えたりするのも、日本語によるものです。また、正しい日本語を話したり書いたりすることや、言葉の意味を正しく理解することは、全ての学習の基盤となるものです。

国語の授業では、日本語としての言語の美しさや特徴、おもしろさを知るだけでなく、「話す・聞く」「書く」「読む」活動を通して、考える力を養い、よりよいコミュニケーション能力を伸ばしていくための課題に取り組むこととなります。また、古典から詩歌まで、様々なジャンルの文章に触れることで、新しい言語や表現、価値観と出会い、自身の言語生活をさらに充実させることができます。自分を表現し、相手と理解し合うための言語を学ぶことを大切にし、力を伸ばして行ってほしいと思います。

2 授業について

(1) 授業規律をしっかりと守る。

国語は「言語」を学び、「言語」で伝える教科です。**互いの意見を尊重し、伝え合う雰囲気作りを。**

○発表する人は、内容はもちろん、**体の向き・声の大きさ・抑揚・発音**にも気を付けよう。

○聞く人は、発表者の励ましになるような**理解や真剣さ**をもとう。**うなずき**や**メモ**も効果的です。

(2) 積極的に活動に取り組もう。

様々な考えをもつ人たちが、互いの意見を交えることで、教材の読みや味わいが深まったり広がったりします。教師主導の解説授業ではなく、**みんなの意見で授業を作っていく**ことが理想です。

○解釈や考えは人それぞれで、一つではありません。勇気をもって発表してみよう。

○「**同じ**」「**似ている**」「**違う**」など、自分の意見との差異を意識しよう。

○音読や朗読は、**大きな声でハキハキ**と。

(3) 思考活動を充実させる。

課題に対し、「なぜそう考えたのか」「どうしてそう思ったのか」**根拠を明確に**することが大切です。文章の読解でも、**考えるヒントは必ず文章中にあります**。どこに着目するのかを意識することで、読解力が伸びていきます。

○関連する言葉や文章に線を引いたり、矢印で結んだりしよう。

○自分の考えがどう変化したのか残すことも重要です。意見は消さずに、考えた軌跡を残そう。

(4) ノートの取り方を工夫しよう。

板書を写すだけのノートではない、**自分らしいノート作り**を心掛けよう。

○自分の考え・意見・感想・疑問・気が付いたこと・調べたこと（調べてみたいこと）など、**どんどん書き込もう**。

○**メモ欄を活用**し、先生の説明や友だちの意見などを書いておこう。

○色分けして、復習したときに**重要なところが一目で分かるようなノート**にしよう。

3 家庭学習について

予習 (1) 新しい題材に入るときは、教科書を読んでくる。

- 内容の**あらまし**を掴む。
- 読めない漢字、分からない語句**をチェックし、辞書で調べる。
※ワークの「漢字」「語句」「短文」をやっておこう。
- 事前に口頭やプリントで確認された**漢字**を書いて練習しよう。
- 音読**の練習をしよう。**声に出すこと**で頭に残りやすくなります。

(2) 学習の課題を考えておく。

復習と発展学習

(1) プリントやノートを見直し、学習したことを確認する。ノート・ワークを整理する。

→ ワークや問題集で演習し、実力アップへ！

- すぐ復習**することで、学習が定着しやすくなります。
- 授業で使ったプリント類はノートに貼って確実に管理し、学習に役立てる。
- 言語事項（文法や漢字など）については、習った事柄を確かめながら問題を解いてみよう。
- 学期ごとにノートとワークを回収し、内容を評価します。テスト前に慌てることのないように。

(2) 漢字の練習をする。

- 「**声に出して書く**」練習をすることで、長く多く漢字を覚えることができます。
- 自分のレベルを把握し、**漢字検定**に挑戦してみよう。学校会場では2級まで受けられます。

(3) 積極的に言語経験を積む。

- 「**読む習慣**」を身に付けるために、様々な文章を読んでみよう。
本を読んで世界を広げ、新聞や雑誌から世の中を知り、自分の辞書を充実させてください。
- 「**書く習慣**」を身に付けるために、様々な文章を書いてみよう。
日記や手紙、メモなど、日常的に書く機会を増やすことで、書く力は伸びていきます。
- ことわざや慣用句、日本語独特の言い回しなど、「**使える**」**言葉を増やしていこう**。

4 評価について

次の5つの観点に沿って、目標が達成できたかどうかをABCで評価し、それをもとに評価を出していきます。日々の授業での取組や頑張り、提出物などが重要になってきますので、継続して努力していきましょう。頑張りが力になります。国語（母国語）の学習を疎かにしないこと。

①「**関心・意欲・態度**」

準備物、提出物、ノートの取り方、課題への取組、挙手・発言の頻度、授業態度など

②「**話すこと・聞くこと**」

発表の様子・内容、音読・朗読、スピーチ、メモの取り方、聞き取りテストなど

③「**書くこと**」

作文、ノートやプリントの記述など

④「**読むこと**」

ノートやプリントの記述、文章問題での読解力、授業中の発表など

⑤「**言語事項**」（語彙・漢字・文法・書写）

漢字テスト、文法テスト、言語学習への取組、書写課題など

